

令和5年度 第2回むつみ会委員会記録

- ・期日:12月2日(土)
- ・会場:視聴覚室

1 挨拶(校長、むつみ会会長)

2 第2回「親の学び講座」(14:00～)

演題:「これからの生きるチカラを考える」

講師:福崎 秀樹 氏

(株式会社フクール 代表取締役社長)



講演趣旨

毎日、本を読み情報に触れて色んなことを勉強して自分を高めようと生活している日々だが、2005年に東京から富山に戻って父の会社を経営することになって数年間は、お金を稼ぐノウハウを学んだり適した人材を探したり、何をしても上手くいかなかった。そんな時に会った人より、経営者としての在り方をあなた自身が気づくしかないと言葉を受けた。「会社は社員が幸せな場所に作る」として「百年後の子ども達も幸せにする」を私は柱に考えるようになった。

私達の社会は2007年にスティーブ・ジョブズがiPhoneを発表した時から、すごい勢いで環境が変わっていった。AI、チャットGPT、ロボット等、科学技術の急成長による産業構造の変化が起こる一方で、人生100年時代の高齢化、富山県でも毎年人口1万人が減っていく状況下でマルチステージの変化が起こっている。この変動性・不確実・複雑・曖昧なVUCA時代の到来に人々は、今まで誰も経験したことのない環境と対峙するのだろうと考える。

その中で私達が逞しく生きる力ってどのようなものだろうか。更に人間とは何かについて、私は色んな人から情報を集めながら学び、考えてきた。オズボーン博士は将来、人工知能が人類の49%の仕事を代替すると発表したけど、人間のインテリジェンス・クリエイティビティーで順応可能だとも言っている。私達は人間だけが持つ能力・資質を高めていくことが重要だと考える。私はそのように将来を見立て、会社では歴史・自然・言葉・身体を使う活動の導入にチャレンジしている。又、先人の経験をたどると幕末の黒船出現は現代のAI出現と似ているのではないかと考える。

私も皆様と同じ子育て世代で子どもが4人いる。私達の子どもは親が知らない、未知の時代を生きて行くことになる。その先々を手伝うことはできないが将来を見据えて考えたり今日の、この瞬間に最善を尽くすと言語を実践したりして、共に命を輝かせましょう。

3 謝辞

4 全体会(15:30～)

・各学年概況および行事報告

